

# 1 題材名 2年生全員が仲良くなるためにしたいことを考えよう【内容(1)】

指導の時期 6月

## 2 題材について

1年生から持ち上がった各学級は児童と児童の結び付きが強く、協力し合って生活することができている。しかし、学級間の交流は少なく、他学級の児童とのかかわりはあまり多くない。そこで、2年生全員が仲良くなるにはどうしたらいいか考え、2年生の他学級との交流活動の内容を企画し、2年生全員で実践していく。学年全体でやり遂げたという思いをもてるようにするとともに、友達の輪を広げ、学年の結束力を高めたい。

## 3 題材の目標

- 2年生の他学級との交流に関心をもち、2年生全員が仲良くなるためにしたいことについて、意欲的に話し合おうとしている。(関・意・態)
- 2年生全員が仲良くなるためにしたいことを考え、自分の意見を発表することができる。(思・判・実)
- 2年生全員が仲良くなるためには、クラスに関係なく活動することや、互いに協力し合うことが大切であることが分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 話し合い活動では、自分の意見に固執せず、全員が楽しめる活動は何かということを考えながら参加し、どのような活動内容がよいか判断する。(判断力)
- ◆ 同じ学年の仲間としたいことを考え、実際に活動することを通して、友達と仲良くし、助け合うことの大切さを実感させる。(2-(3) 友情・信頼、助け合い)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 学年全体で実施したいことについて、考えて記入しておく。 (休み時間等・学級会ノート)	○ 2年生全員が仲良くなるための活動であることを確認し、全員が楽しめる、参加しやすい内容を考えるよう助言する。

### (2) 本時の活動(第1時)

- ① 活動テーマ例 「2年生全員が仲良くなるためにしたいことを考えよう」
- ② 活動のねらい 2年生全員が仲良くなるためにはどうすればよいかを考えて、みんなと一緒にしたいことについて話し合おう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 司会グループの児童を中心に、議題の確認や提案理由について発表する。	○ いつ実施するのか、何時間目に実施するのか等、児童が考えやすいように概要を説明する。 ○ 話し合い活動の目的や本時のめあてを再確認させ、話し合いの助言者として、方向性を示す。
展開	2 実施したいことについて意見を出し合う。 3 出てきた意見をもとに、比べ合う。 4 比べ合ったことをもとに、意見をまとめる。	○ 考えてきた意見やノートに書いてきたものを発表できていない児童がいれば、発表するよう促す。 ○ 論点がずれたり、話題がそれたりした場合は、今、何を話し合っているか確認させる。 ◇ 他学級との交流に関心をもち、2年生全員が仲良くなるためにしたいことを話し合う活動に、意欲的に参加することができたか。
終末	5 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。	◇ 2年生全員が仲良くなるためにしたいことを考え、自分の意見を発表することができたか。

### (3) 事後の活動(第2時に向けた事前の活動)

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 話し合い活動で決まったことをもとに、司会グループは実施計画の詳細を決定する。 (休み時間等)	○ 司会グループが中心となり、学年全体で活動を運営していくようにすることで、やり遂げたという達成感をもてるようにする。

(4) 本時の活動(第2時)

① 活動テーマ例 「2年生全員が仲良くなるための活動をしよう」

② 活動のねらい 2年生全員が仲良くなるためにみんなで考えた活動を実践しよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 司会グループの児童が、活動の内容やルールについて説明する。	○ 事前に説明する担当を決めておき、伝わりやすい言葉で説明するよう助言する。
展開	2 レクリエーションを実施する。 (活動例) ・ドッジボール ・けいどろ ・おにごっこ	○ 勝敗にかかわらず、活動の工夫が見られた児童を取り上げ称賛する。 ○ 審判が必要なときには児童が公正公平に取り組んでいるか確認し、運営面で活躍している司会グループに対して称賛や励ましの言葉をかける。 ◇ 学年の友達と楽しんで活動したり、司会グループが計画に基づいて協力して運営したりできているか。
終末	5 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。	○ 話合いから活動まで、自分たちで運営することができたことを称賛する。

(5) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・レクリエーションを通して学んだことを、学級生活に生かす。 (常時活動)	○ 学年全体で協力して楽しむことができた姿を称賛し、今後の学校行事などでも、今回と同様に協力して計画、実施していくことが大切であることを伝える。

# 1 題材名 運動会のスローガンを決めよう【内容(1)】

指導の時期 6月

## 2 題材について

運動会は、全校生にとって特別な行事である。また、学校全体としても、教科体育の充実、学級の結束を強める機会として重要である。1年生は小学校生活最初の運動会であるため、戸惑いや不安もあるが、皆運動会に向けてがんばっていかうという気持ちでいっぱいである。練習がつかったり、途中でくじけそうになってしまったりすることもあるが、運動会のスローガンを考えたり話し合ったりする活動を通して、一人一人が運動会に向けての希望や目標をもって練習に取り組み、充実感に満ちた運動会にしたい。そのために、全学年を通して運動会のスローガンについて話し合い活動を行う。

## 3 題材の目標

- 自分たちが参加する運動会の内容やスローガンについて関心をもち、進んで話し合い活動に参加しようとする。(関・意・態)
- 自分たちが参加する運動会の内容やスローガンについて、友達と話し合い、自分の考えを発表することができる。(思・判・実)
- 自分の考えと友達の考えには共通点があることを知り、みんなで協力することで運動会の目標が達成できるということが分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 自分の考えと友達の考えには共通点があることに気づき、自分の考えも友達の考えも大切であるということが分かる。(感受性)
- ◆ 目標をもって運動会に参加することの大切さを知らせ、友達と励まし合いながら粘り強く練習に取り組む態度を育成する。(2-(3) 友情・信頼、助け合い)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒川小の運動会について教師の説明を聞く。(朝の会・帰りの会)</li> <li>・ 家庭で運動会のスローガンを考えてくる。(家庭・学級会ノート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 荒川小の運動会について、写真などを用いて説明する。</li> <li>○ 「スローガン」とは何かを説明し、いくつか例示する。また、保護者と一緒に考えることを伝える。</li> </ul>

### (2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「運動会のスローガンを決めよう」

② 活動のねらい みんなの思いが1つになるようなスローガンを話し合おう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 司会の教師を中心に議題の確認や話し合い活動のねらいについて話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「スローガン」とは何かを再度説明し、児童が考えやすいようにする。</li> <li>○ 話し合い活動の目的や本時のめあてを確認させ、話し合いの司会者として、方向性を示す。</li> </ul>
展開	2 考えてきたスローガンについて意見を出し合う。 3 出てきた意見をもとに、比べ合う。 4 比べ合ったことをもとに、意見をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えてきた意見やノートに書いてきたものを発表できていない児童がいれば、発表するよう促す。</li> <li>○ 論点がずれないように、今、何を話し合っているかを確認させながら話し合いを進める。</li> <li>◇ 運動会のスローガンを考え、話し合い活動に参加することができたか。</li> </ul>
終末	5 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 話し合いのめあてを達成することができたか。</li> <li>※ 学級で決まったスローガンは、代表委員会に提出し、運動会のスローガン候補として扱う。</li> </ul>

### (3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校練習や学年練習の場面でスローガンを思い出し練習に積極的に取り組む。(運動会の練習)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動会の練習時に、児童の活動のよさを見つけ、称賛していく。</li> <li>◇ 友達と励まし合い声をかけ合いながら練習に取り組んでいるか。</li> </ul>

1 題材名 大そうじ【内容(1)】

指導の時期 1 1 月

2 題材について

年末は大そうじの時期である。児童にとっても、大そうじは家族行事として行われることも多く、なじみ深いものである。大そうじを行い、感謝の心を育てたい。

2年生は、清掃活動において清掃強調週間を学期ごとに経験しており、定期的の大そうじをすることの意義について認識しているが、自分たちで考えて清掃することは難しい。そこで、朝の会や帰りの会等の時間に、大そうじや教室の汚れなどの話を意図的にし、大そうじに関心をもたせたい。また、縦割り班清掃では行き届かない箇所の清掃や、普段使うことの少ない清掃用具を使つての清掃を行うことで、意欲的に活動に参加できるようにする。話合いにあたっては、1つの活動を実施するために意見を集約する場合もあれば、いくつかの活動を実施する場合もあることが考えられる。話合いに折り合いをつけさせながら、感謝の心を育てる活動となるよう配慮する。

3 題材の目標

- 大そうじの仕方について進んで話合い活動に参加するとともに、大そうじを行うことで、教室に「ありがとう」の気持ちを伝えようとしている。(関・意・態)
- ピカピカ計画のために、様々なアイデアや清掃の仕方の工夫などについて意見を发表することができる。(思・判・実)
- 「ありがとう」の気持ちを行動や態度で表すことの大切さが分かる。(知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

◎ 話合い活動では、友達の意見に耳を傾け、学級をきれいにするためのよい意見には積極的に賛成し、行動しようとする。(実践力)

◆ 友達と協力して大そうじを行うことで、感謝の心を育てる。(4-(2) 勤労)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 大そうじで清掃したい場所について考えて記入しておく。 (休み時間等・学級会ノート)	○ 縦割り班清掃では行き届かない箇所の清掃や、普段使うことの少ない清掃用具を使つての清掃を行ってもよいことを伝える。

(2) 本時の活動(第1時)

① 活動テーマ例 「2年〇組ピカピカ計画！」

② 活動のねらい 教室に「ありがとう」の気持ちを伝えるにはどのような活動をしたらいいか話し合おう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 司会グループの児童を中心に議題の確認や話合い活動のねらいについて話を聞く。	○ 教室に「ありがとう」の気持ちを伝えるためにはどのように清掃を行えばよいのか、児童に考えさせる問いかけをする。 ○ 話合い活動の目的や本時のめあてを確認させ、話合いの助言者として、方向性を示す。
展開	2 考えてきた大そうじの計画について意見を出し合う。 3 出てきた意見をもとに、比べ合う。 4 比べ合ったことをもとに、意見をまとめる。	○ 考えてきた意見やノートに書いてきたものを発表できていない児童がいれば、発表するよう促す。 ○ 論点がずれないように、今、何を話し合っているかを確認させながら話合いを進める。 ◇ 教室に「ありがとう」の気持ちを伝える大そうじの方法について、話合い活動に参加することができたか。
終末	5 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。	◇ 話合いのめあてを達成することができたか。 ※ 大そうじに必要な道具(爪楊枝、綿棒等)は教師が用意する。

(3) 事後の活動(第2時に向けた事前の活動)

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 話合い活動で決めたことをもとに、清掃分担の希望を考える。 (休み時間・ふれあいタイム)	○ 実施する際の時間の確保をするとともに、活動内容の詳細について学級内で決め、説明する。 ○ 清掃の分担について、内容と人数の割り振りを行う。

(4) 本時の活動(第2時)

① 活動テーマ例 「2年〇組ピカピカ計画！」

② 活動のねらい 教室に「ありがとう」の気持ちを伝える大そうじをしよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 教師の説明を聞く。	○ 活動の目的や本時のめあてを再確認させ、清掃の仕方や注意事項、時間等を説明する。
展開	2 大そうじを実施する。 (活動例) ・教室の床の水拭き ・棚の水拭き ・床のほこり取り ・窓ふき	○ 活動の工夫が見られた児童を取り上げ、称賛する。 ◇ 友達と協力して活動したり、工夫して取り組んでいるか。
終末	3 本時の活動を振り返り、教師の話を聞く。	○ 教室に感謝の気持ちをもって、話合いや活動ができたことを称賛する。

(5) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・大そうじを通して学んだことを、学級生活に活かす。 (常時活動)	○ 学級全体で協力して取り組むことができた姿を称賛し、次回も今回と同様に協力して計画、実施していくことが大切であることを伝える。

# 1 題材名 6年生を送る会【内容(1)】

指導の時期 1 2 月

## 2 題材について

2年生は、縦割り班清掃、共遊の時間、登下校のときなどに、6年生にお世話になってきた。1年生のときと比べると、6年生に手伝ってもらう場面は少なくなったが、学校生活において、6年生の存在は大きいものであり、よき手本として、様々なことを学んできた。

そこで、卒業を控えた6年生に対して、これまでの感謝の気持ちを表すための方法を考え、話し合い活動を行う。話し合いで決まったことは、代表委員会に提案され、会の進行によっては、「6年生を送る会」で実際に行われることになる。

学級として1つの意見に集約する話し合い活動になることが考えられる。話し合いに折り合いをつけさせながら、6年生との最後の思い出作りにふさわしい活動となるよう配慮する。

## 3 題材の目標

- 6年生を送る会について進んで話し合い活動に参加するとともに、6年生に感謝の気持ちを伝えるための方法を考えようとしている。(関・意・態)
- 6年生を送る会のために、様々なアイデアや活動の工夫について、みんなが楽しめる内容を考え、意見を発表することができる。(思・判・実)
- 6年生に対する感謝の気持ちを、具体的な行動に起こすことによって示すことの大切さと、みんなが楽しめるような内容を考えることの大切さが分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 自分たちの思いを伝えられるような活動を考え、発表することができる。(技能)
- ◆ 今までお世話になった6年生との思い出作りをする活動を通して、感謝の心を育てる。(2-(4) 尊敬・感謝)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 6年生を送る会について教師の話を聞く。 (朝の会・帰りの会)	○ 6年生を送る会について説明する。 ○ 昨年度の活動を想起させる。 ○ 写真や映像を用意し、必要に応じて見せる。

### (2) 本時の活動(第1時)

- ① 活動テーマ例 「6年生にありがとうの気持ちを伝えよう」
- ② 活動のねらい みんなが楽しめる6年生を送る会をするにはどんな活動をしたらいいかを話し合おう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 司会の教師(または児童)を中心に、議題の確認や話し合い活動のねらいについて話を聞く。	○ 6年生を送る会について写真や映像で説明する。 ○ 話し合い活動の目的や本時のめあてを確認させ、話し合いの司会者(または副司会、助言者)として、方向性を示す。
展開	2 6年生を送る会について考えてきた意見を出し合う。 3 出てきた意見をもとに、比べ合う。 4 比べ合ったことをもとに、意見をまとめる。	○ 考えてきた意見やノートに書いてきたものを発表できていない児童がいれば、発表するよう促す。 ○ 実施可能な内容か、また準備物を作成するまでにどのくらい期間が必要か考えながら話し合いを進め、実施不可能であれば代案を示す。 ◇ みんなが楽しめる6年生を送る会をするにはどんな活動をしたらいいかを考えて、話し合い活動に参加することができたか。
終末	5 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。	◇ 話し合いのめあてを達成することができたか。

### (3) 事後の活動(第2時に向けた事前の活動)

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 代表委員会の話し合い活動で決まったことを聞く。 (休み時間・ふれあいタイム)	○ 活動内容の詳細について決め、説明する。

(4) 本時の活動(第2時)

① 活動テーマ例 「6年生にありがとうの気持ちを伝えよう」

② 活動のねらい 6年生との最後の思い出作りのための準備をしよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 代表委員会の児童からの説明を確認する。 2 教師の説明を聞く。	○ 活動の目的や本時のめあてを再確認させ、注意事項を説明する。
展開	3 準備をする。 (活動例) ・出し物をする ・歌を歌う ・プレゼントを贈る	○ 活動の工夫が見られた児童を取り上げ、称賛する。 ○ 準備の中で新たに必要になったことや改善する点は、最後に全体で確認、説明する。 ◇ 計画に従って、感謝の気持ちを伝えたり楽しんでももらえたりする準備になったか。
終末	4 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。	○ 6年生に対するどんな思いからこの活動をするのかをふり返り、意識付けを図る話をする。

(5) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 計画に基づいて準備をしたり練習をしたりする。 (休み時間・ふれあいタイム) ・ 6年生を送る会を実施する。	○ 協力している姿や、真剣に取り組んでいる姿を称賛する。 ◇ 計画に従って、6年生に感謝の気持ちを伝えたり楽しんでもらったりすることができたか。

# 1 題材名 感謝の集い【内容(1)】

指導の時期 2月

## 2 題材について

スクールガードリーダー、見守り隊、交通指導員の方々は、常に児童の安全な生活のために力を貸して下さっている。しかし、児童は登下校時にあいさつはするが、感謝を伝える機会というのではない。また、特に1年生は、地域の方やボランティアの方がどういった活動をしているかということはほとんど知らない。

そこで、そうした方々に対して感謝の気持ちを表すための方法を考え、話し合い活動を行う。話し合いで決まったことは、代表委員会に提案され、会の進行によっては、「感謝の集い」で実際に行われることになる。

学級として1つの意見に集約する話し合い活動になることが考えられる。話し合いに折り合いをつけさせながら、「感謝の会」にふさわしい活動となるよう配慮する。

## 3 題材の目標

- 感謝の会について進んで話し合い活動に参加するとともに、地域の方やボランティアの方に感謝の気持ちを伝えようとしている。(関・意・態)
- 感謝の会のために、様々なアイデアや活動の工夫について意見を発表することができる。(思・判・実)
- 地域の方やボランティアの方に対するどんな思いからこの活動をするのかを話し合い気持ちが伝わるような活動をするのが大切であることが分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 自分たちの思いを伝えられるような活動を考え、発表することができる。(技能)
- ◆ お世話になっている地域の方やボランティアの方への感謝の気持ちを表す会をする活動を通して、感謝の心を育てる。(2-(4) 尊敬・感謝)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 感謝の会について教師の話聞く。 (朝の会・帰りの会)	○ 感謝の会について説明する。

### (2) 本時の活動(第1時)

- ① 活動テーマ例 「お世話になった人へありがとうの気持ちを伝えよう」
- ② 活動のねらい お世話になっている地域の方やボランティアの方への感謝の気持ちを表すにはどんな活動をしたらよいか考えよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 司会の教師を中心に議題の確認や話し合い活動のねらいについて話を聞く。	○ 話し合い活動の目的や本時のめあてを確認させ、話し合いの司会者として、方向性を示す。
展開	2 感謝の会について考えてきた意見を出し合う。 3 出てきた意見をもとに、比べ合う。 4 比べ合ったことをもとに、意見をまとめる。	○ 考えてきた意見やノートに書いてきたものを発表できていない児童がいれば、発表するよう促す。 ○ 実施可能な内容か、また準備物を作成するまでにどのくらい期間が必要か考えながら話し合いを進め、実施不可能であれば代案を示す。 ◇ 地域の方やボランティアの方に感謝の気持ちを伝えるには、どんな活動をしたらよいかを考えて、話し合い活動に参加することができたか。
終末	5 本時の活動をふり返り、教師の話聞く。	◇ 話し合いのめあてを達成することができたか。

### (3) 事後の活動(第2時に向けた事前の活動)

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 代表委員会の話し合い活動で決まったことを聞く。 (休み時間・ふれあいタイム)	○ 活動内容の詳細について決め、説明する。



(4) 本時の活動(第2時)

① 活動テーマ例 「お世話になった人へありがとうの気持ちを伝えよう」

② 活動のねらい 感謝の会を開くための準備をしよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 代表委員会の児童からの説明を確認する。 2 教師の説明を聞く。	○ 活動の目的や本時のめあてを再確認させ、注意事項を説明する。
展開	3 準備をする。 (活動例) ・手紙を書く ・花束を渡す ・歌を歌う ・プレゼントを贈る	○ 活動の工夫が見られた児童を取り上げ、称賛する。 ○ 準備の中で新たに必要になったことや改善する点は、最後に全体で確認、説明する。 ◇ 計画に従って、感謝の気持ちを伝えたり楽しんでもらえたりする準備になったか。
終末	4 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。	○ 地域の方やボランティアの方に対するどんな思いからこの活動をするのかをふり返り、意識付けを図る話をする。

(5) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 計画に基づいて準備をしたり練習をしたりする。 (休み時間・ふれあいタイム) ・ 感謝の会を実施する。	○ 協力している姿や、真剣に取り組んでいる姿を称賛する。 ◇ 計画に従って、地域の方やボランティアの方に感謝の気持ちを伝えたり楽しんでもらったりすることができたか。